

っていないと認識している。(内田助役)

167. カミサリーの進出について

Q：外食産業参入の話聞くが、地元の農業を大切にすることが大切。安心・安全な食材使用の方針で推進してほしい。雇用の創出は農業が主体にならないといけないと考えるがどうか。

A：旧加茂町に㈱やくもが進出したいとの意向であった。カット野菜・配食サービス・仕出しの営業。進出反対陳情も出されたが、市は良好な関係が保てるよう調整を図っている。この会社は農産物についてはJA・集落営農組織・養鶏業者と直接取引したいとの意向もあり、今後も調整を図る。(産業振興部)

168. 雇用の確保について

Q：野谷は若い人が少なく働き手がないため地域の仕事ができない。ダムが出来ることに伴い地域で働く場所をつくり、雇用の確保を行ってほしい。

A：ダムの本体工事も年度末に着手となった。木次町時代から取り組んできた地域に開かれたダムの整備計画(ボートコース、サイクリングコース)も3月に国の方で認定を受けたところである。施設整備については県が実施する。施設を生かした人が集まる仕組みや働く場の確保について取り組んで行かなければならない。発電所というご意見もあったが、現実的にはダム管理、地場産業の特産販売等を地元で行っていただける体制等について地元と今後協議を行い出来る事から実施していきたい。(政策企画部)

【観光】

169. 観光振興について

Q：観光の振興について、市の方策は。久野地区にどのような影響があるか。

A：観光スタイルの変化、個人の趣向を重視したものに変わってきている。グリーンツーリズム、古民家を利用し、おいしい料理を楽しみゆっくりとした時間を過ごすというものになっている。おおきな観光資源はないので、豊かな自然と食をメインに進めてはと考えている。(産業振興部)

170. 上久野桃源郷への指定管理者制度の導入について

Q：上久野桃源郷について、今後どのような運営方法を考えているか。指定管理者制度の導入を考えているか。

A：当然、指定管理者制度を入れて行くこととなる。公募をすることになるので、現在の方が引き続きやっていただくことも出来、現状どおりやっていただきたいと考える。(内田助役)

171. 桜を活かした産業創出について

Q：木次町は桜の管理が非常によくされている。三刀屋町の桜は管理されていない。また、木次と三刀屋を関連づければ観光の目玉になるのではないかと。桜の木を使った産業創出ができないか。

A：桜を使った産業の創出については、検討が必要である。また、どもにも負けない桜の一大産地として努力したい。(影山助役)

172. 八重滝観光について

Q：八重滝観光、観光は利益ない観光こそ交流事業で地域の活力ではないかと思うがいかがか。

A：八重滝観光について、今年6,000千円で雲南市のパンフレットを作成する。看板等の修繕も聞いている。掛合の観光地「八重滝」等をPRするよう部内の会議で検討したい。観光地は、地元への支援により観光地が成り立っている状況もあるので、今後とも協力をお願いしたい。

173. 案内看板の設置について

Q：この地域は雲南市の中で一番へき地であるところという意識がかなり強い。あきらめムードも多い。合併当初に大東は、松江へ通じる東の玄関口である聞いた、ここはへき地であるばかりでなく、国道54号線が通っていて広島へ通じる雲南市の南の玄関口である。将来は、道州制という話も考えられます。松江より広島を考えるべきである。恩谷から入間にかけては、雲南市の南の玄関口であると地域の者も考え方変えて行政も念頭において行政をすすめてはどうか。おおきな看板でもたてて「ここから雲南市」「ようこそ雲南市へ」などどんなものかと思えます。

A：看板について、南に東に対して今後アピールやPRが必要になってくると思います。観光地というよりも文化のにおいのする地域であるというアピールが必要であると思っている。総合計画などの計画にその中の戦略として雲南市をアピールしていける手法の一つとして参考とさせていただきたい。提言として受け止めたいと思っています。併せて観光の関係ですが、どういう位置づけにしていくのか観光だけでは、産業になり得る要素が少なく、特に県立自然公園は一つの交流の名勝、景勝地としてこうした利用が大切ではないかと考えております。雲南市の滝巡りが計画されている。三刀屋の雲見滝と竜頭・八重滝と接続したツアーなどで訪れていただき産業に結びついていくような仕掛けをしなくては産業になりえない。例えば食事などでお金をおとしてもらわないと観光産業にならないと思います。皆さんの知恵をお借りして産業につながっていけばと思います。例えば「水車の会」の皆様と協議いただき蕎麦を食べてもらおうとか、そういう風につなげていかないと八重滝・竜頭が滝だけではなりえないと思います。そういう知恵を今後出して行きたいと思っています。(影山助役)

観光の看板などに地元で意見が取り入れられていないという実態があるので、地域要望で具体的にこういう場所にこういう内容をなどの案や観光パンフレットに対しても地元から案を出していただきたいと思っています。(産業振興部)